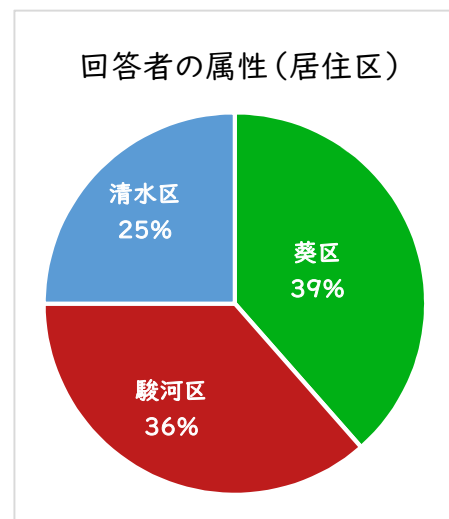
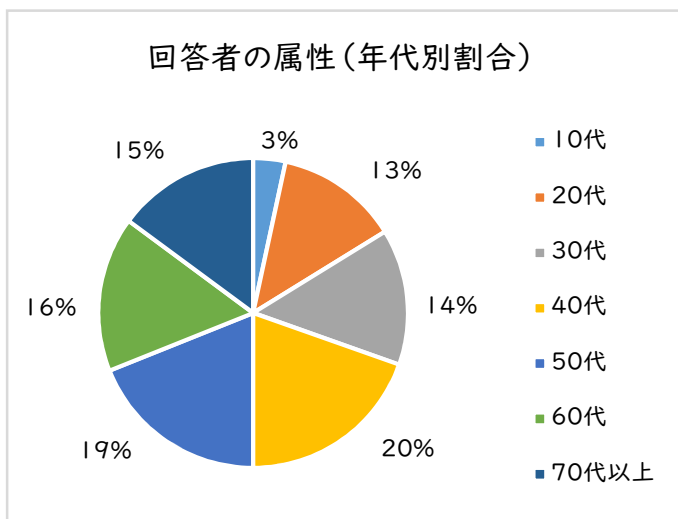


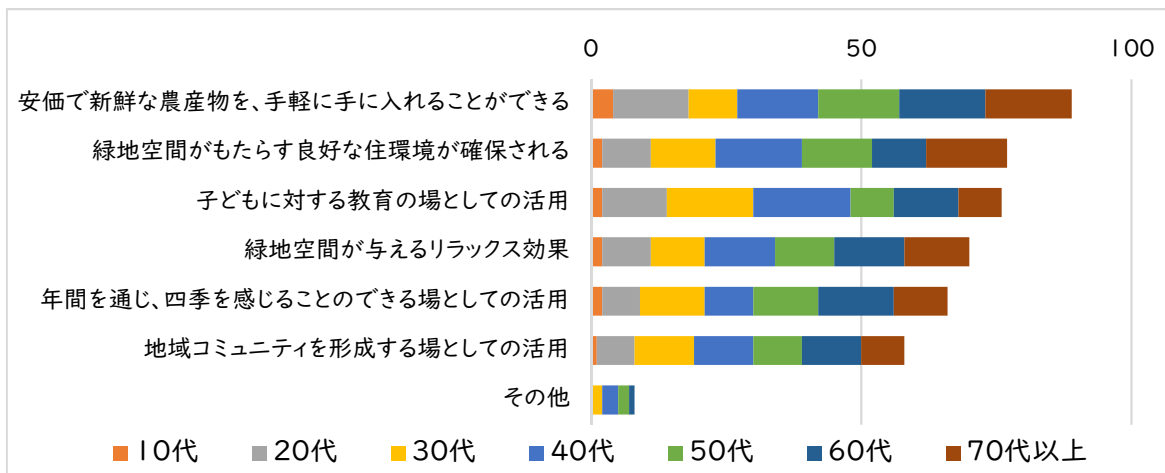
「本市の都市農業」に関する市政アンケートモニター調査

1 調査目的	<p>本市では、都市農業振興基本法(以下「法」という)の施行により、都市農業における生産基盤である農地(以下「都市農地」という)が「宅地化すべきもの」から「あるべきもの」へと大きく方向転換されたことに伴い、平成30年3月、同法に基づく地方計画である「静岡市都市農業振興基本計画」を策定し、都市農業の振興や理解の促進のための施策を実施しています。</p> <p>今年度、策定から5年目となる本計画について見直しを行うにあたり、市民の皆様への「都市農業」に対するご意見を伺い、計画策定及び今後の施策の参考とするため、市民アンケートモニター調査を実施しました。</p>		
2 調査対象	市政アンケートモニターとして委嘱した市内在住の150人		
3 回収件数	148件(回収率98.7%)		
4 調査方法	インターネットによるアンケート調査		
5 調査期間	令和4年5月24日(火)～5月31日(火)		
6 担当課	経済局農林水産部農業政策課		
7 回答者の属性(人)			
<b>葵区</b>	<b>駿河区</b>	<b>清水区</b>	計
57	54	37	148
39%	36%	25%	100%



【問1ーア】 あなたの考える都市農業のメリットにはどのようなものがありますか？(複数回答可)

問1ーア	回答数
安価で新鮮な農産物を、手軽に手に入れることができる	89
緑地空間がもたらす良好な住環境が確保される	77
子どもに対する教育の場としての活用	76
緑地空間が与えるリラックス効果	70
年間を通じ、四季を感じることでできる場としての活用	66
地域コミュニティを形成する場としての活用	58
その他	8

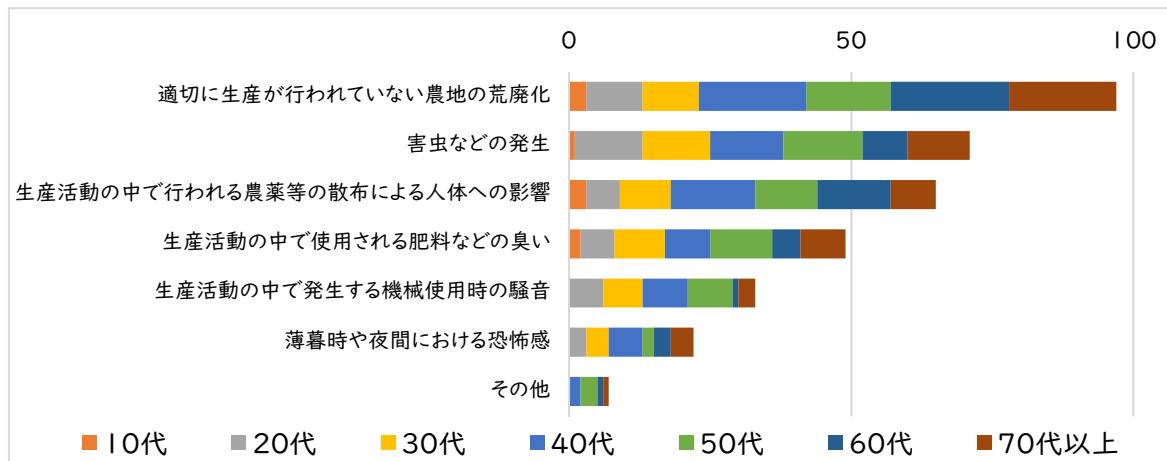


<その他意見>

- ・地元で採れたことの安心感がある。地産地消で地域が活性化される。(清水区・60代)
- ・安心して食べられる食材を作ってくれている。(清水区・50代)
- ・地球温暖化対策や地産地消の促進、それによる輸送 CO2 排出量の削減。(駿河区・40代)
- ・輸送にかかるエネルギー、排気ガスが抑えられ、環境に良い。(清水区・40代)
- ・大人も地産地消や安全な食事、食育の良い機会を得られる。(葵区・30代)
- ・田は洪水対策にもなる。(葵区・50代)
- ・防災機能の確保、食料自給率の向上。(駿河区・40代)
- ・少しでも静岡市オリジナルが促進される。いちご、ナス、ソバなど。(駿河区・30代)

【問1ーイ】 あなたの考える都市農業のデメリットにはどのようなものがありますか？(複数回答可)

問1ーイ	回答数
適切に生産が行われていない農地の荒廃化	97
害虫などの発生	71
生産活動の中で行われる農薬等の散布による人体への影響	65
生産活動の中で使用される肥料などの臭い	49
生産活動の中で発生する機械使用時の騒音	33
薄暮時や夜間における恐怖感	22
その他	7

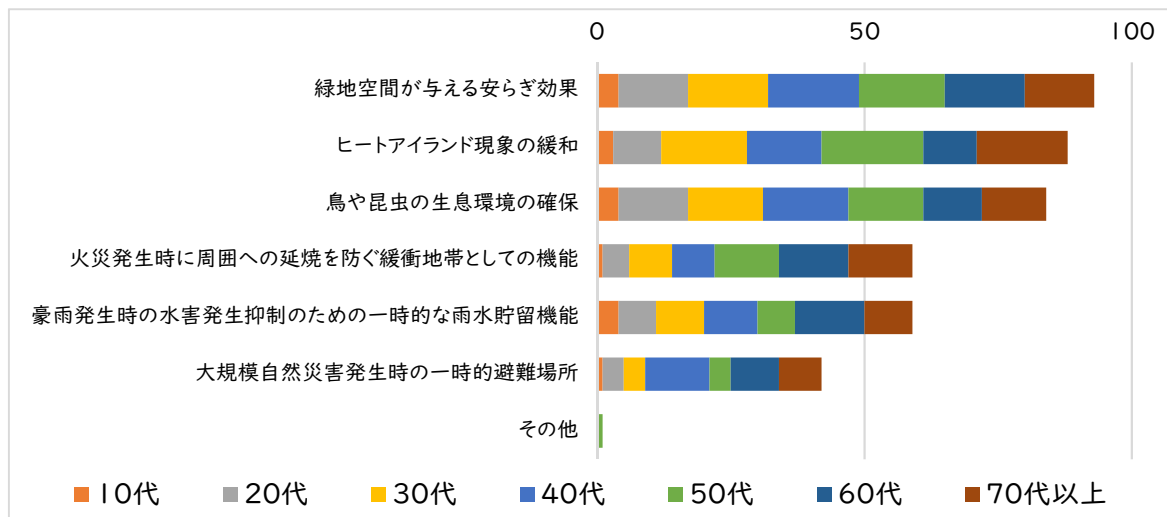


<その他意見>

- ・土地活用機会の損失(駿河区・40代)
- ・仮に無人販売のような形を取る場合の、売買上のトラブルや商品代金に関する犯罪(葵区・50代)
- ・鹿やイノシシなどが出現するかもしれない危険性(清水区・60代)
- ・生産性の低さ(葵区・50代)
- ・カエルの鳴き声がうるさい(葵区・70代以上)
- ・荒廃したとき近隣住宅に雑草の種やカメムシなどが飛び雑草や害虫被害が広がる(清水区・40代)
- ・都市農業のデメリットになるイメージがピンとこないのですが、「限られた面積の有効活用」という範囲であればそんなに気になる事はないと思います。(清水区・50代)

【問1ーウ】 都市農地は農作物の生産現場としての役割のほかにも、様々な機能を有しています。あなたの知っている都市農地が持つ多面的機能にはどのようなものがありますか？(複数回答可)

問1ーウ	回答数
緑地空間が与える安らぎ効果	93
ヒートアイランド現象の緩和	88
鳥や昆虫の生息環境の確保	84
火災発生時に周囲への延焼を防ぐ緩衝地帯としての機能	59
豪雨発生時の水害発生抑制のための一時的な雨水貯留機能	59
大規模自然災害発生時の一時的避難場所	42
その他	1



<その他意見>

・勉強不足で都市農地の詳細については知りませんでした。(清水区・50代)

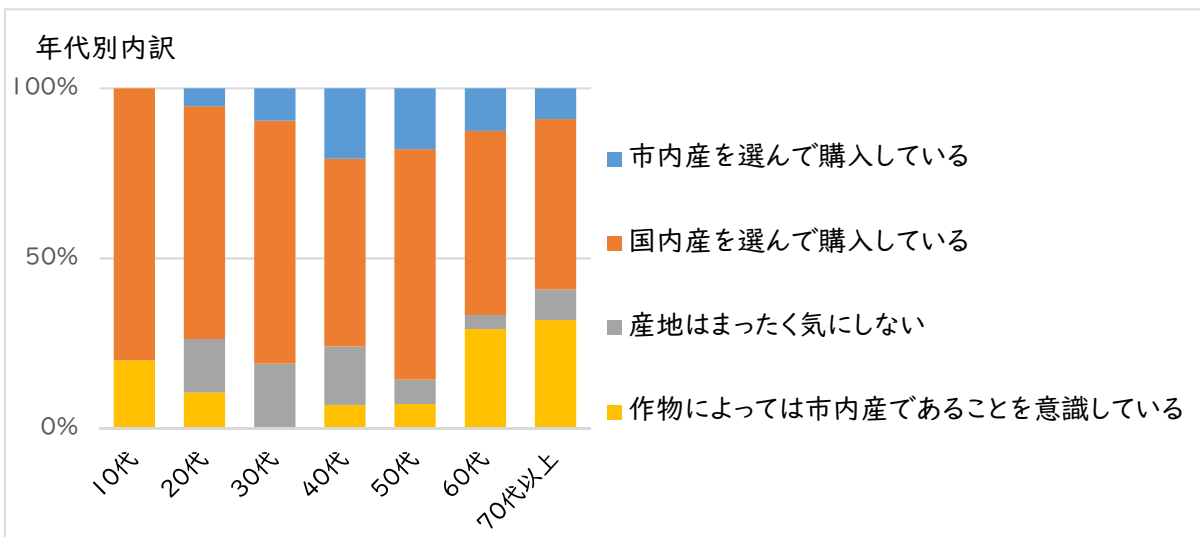
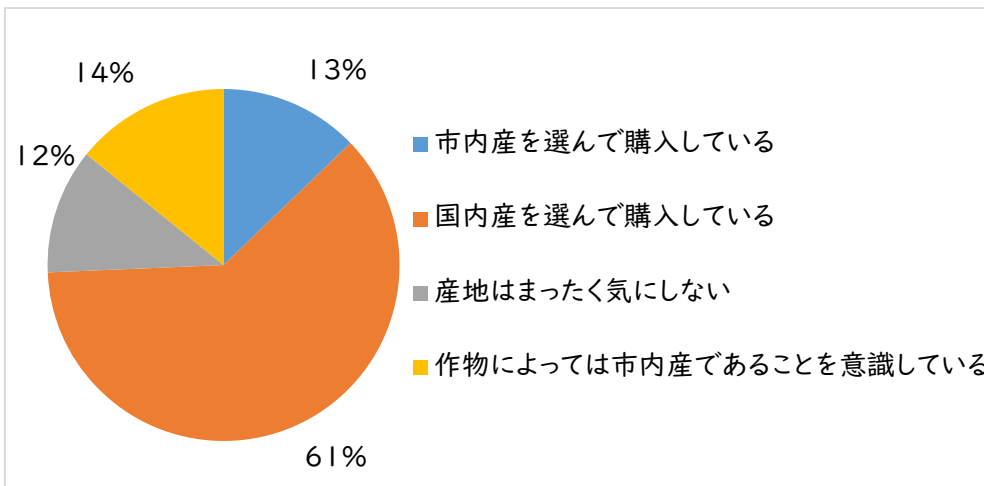
都市農業のメリットについては、「安価で新鮮な農産物を、手軽に手に入れることができる」という回答が最も多かった。

デメリットについては、「適切に生産が行われていない農地の荒廃化」が突出して多く、次いで「害虫などの発生」「農薬等の散布による人体への影響」などであった。

また、都市農地が持つ機能については「緑地空間が与える安らぎ効果」や「ヒートアイランド現象の緩和」等の人や環境に影響する機能を知っているという回答が多かったのに対し、「防災機能」についてはやや少なかった。

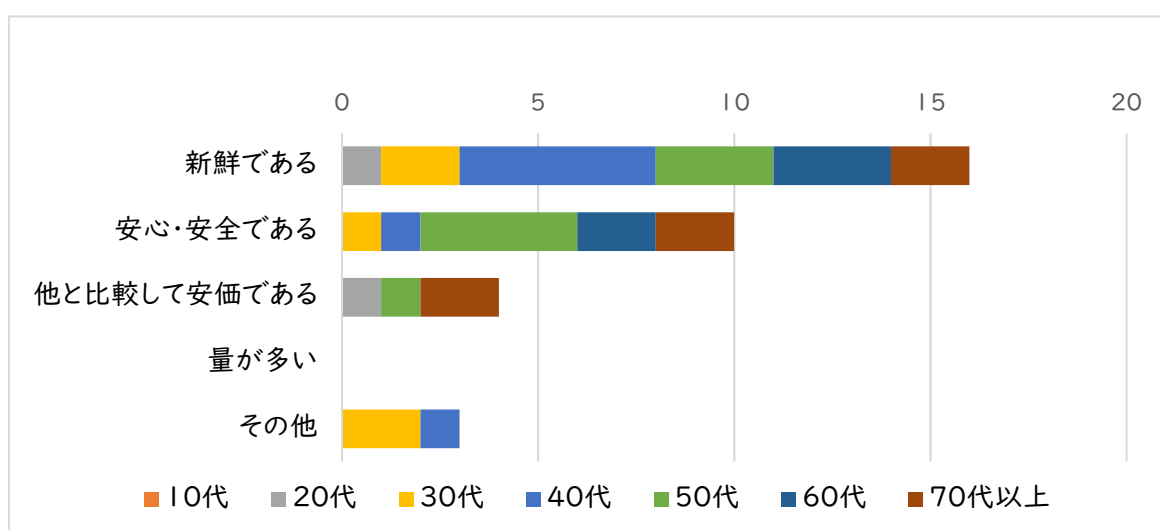
【問2-ア】 あなたは普段、農作物を購入する際、産地を気にして購入していますか？(回答は1つ)

問2-ア	回答数
市内産を選んで購入している	19
国内産を選んで購入している	91
産地はまったく気にしない	17
作物によっては市内産であることを意識している	21



【問2-イ】 アで(1)「市内産を選んで購入している」と回答した方に伺います。市内産を選んで購入する理由は何ですか？(複数回答可)

問2-イ	回答数
新鮮である	16
安心・安全である	10
他と比較して安価である	4
量が多い	0
その他	3

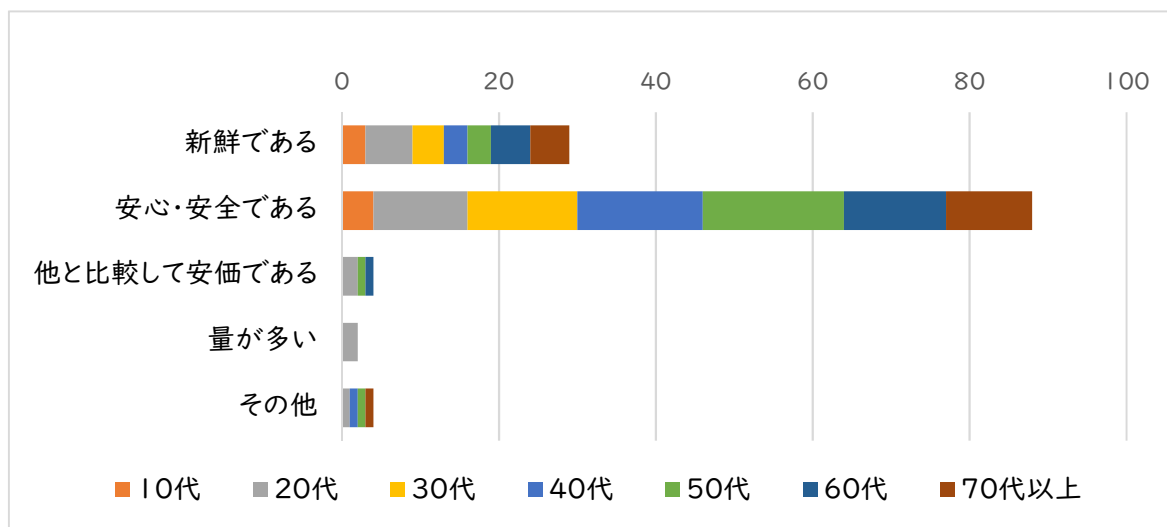


<その他意見>

- ・地元の農業を応援したいから。(駿河区・30代)
- ・地産地消(葵区・40代)
- ・地産地消が地域経済にも自分の健康にも良いから。(駿河区・30代)

【問2-ウ】 アで(2)「国内産を選んで購入している」と回答した方に伺います。国内産を選んで購入する理由は何ですか？(複数回答可)

問2-ウ	回答数
新鮮である	29
安心・安全である	88
他と比較して安価である	4
量が多い	2
その他	4

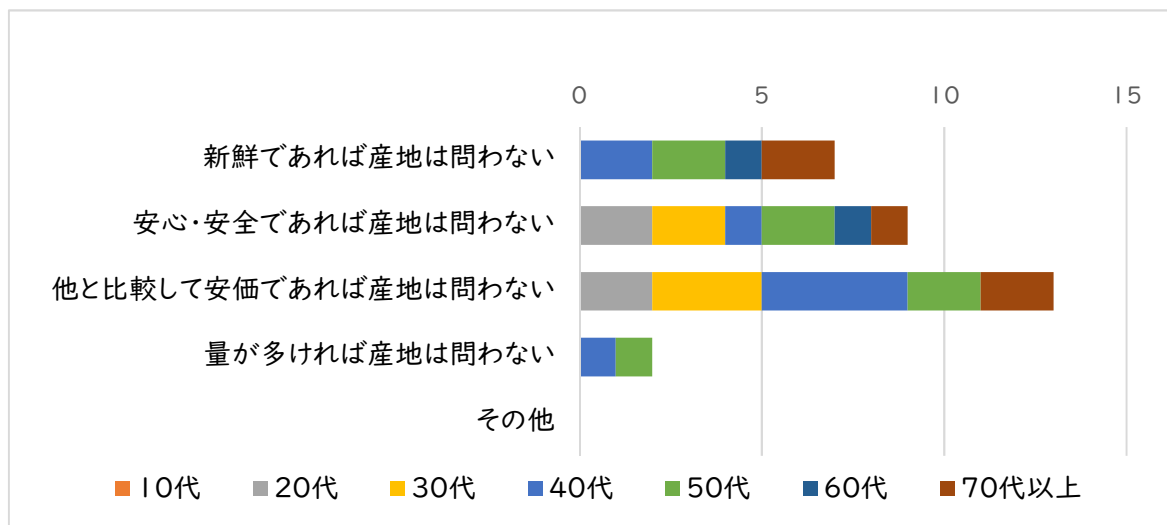


<その他意見>

- ・子どもが食べるものだから。(駿河区・20代)
- ・日本の農業を応援したい。(駿河区・40代)
- ・国内で生産されているということを大事にしたい(駿河区・70代以上)
- ・国内産を選んで購入しているにしましたが、「物によって産地を選ぶ」が正しいです。品質・鮮度・価格など優先順位として、産地はそれほど重要ではない。(清水区・50代)

【問2-エ】 アで(3)「産地はまったく気にしない」と回答した方に伺います。産地をまったく気にしない理由は何ですか?(複数回答可)

問2-エ	回答数
新鮮であれば産地は問わない	7
安心・安全であれば産地は問わない	9
他と比較して安価であれば産地は問わない	13
量が多ければ産地は問わない	2
その他	0



農作物を購入する際に「産地はまったく気にしない」と答えた人の割合は1割であり、回答者の9割は産地を気にして購入している。

そのうち、「国内産を選んで購入している」と答えた人の割合は6割で、「市内産を選んで購入している」または「作物によっては市内産を選んで購入している」と答えた人は3割弱であった。

「市内産を選んで購入している」と答えた人の理由としては「新鮮である」が最も多く、「国内産を選んで購入している」と答えた人では「安心・安全である」、「産地はまったく気にしない」と答えた人では「他と比較して安価であれば産地は問わない」がそれぞれ最も多い理由であった。

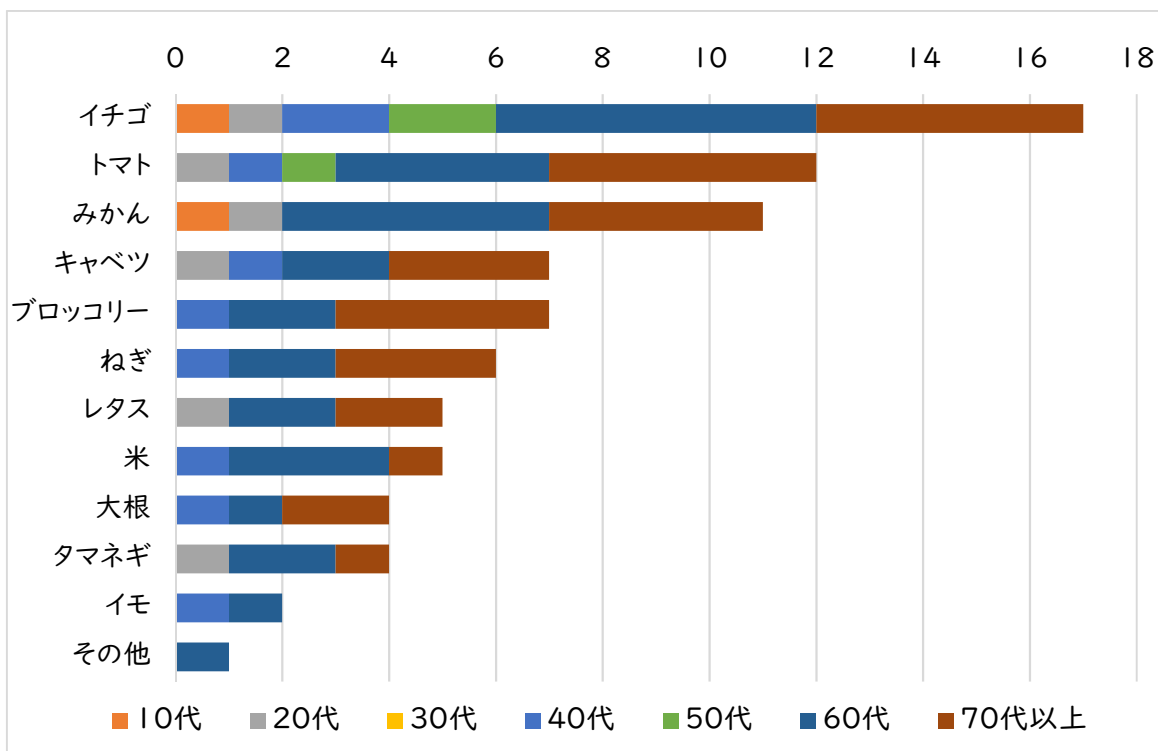
一方で、「産地はまったく気にしない」と答えた人であっても、その5割が「新鮮であれば産地は問わない」「安心・安全であれば産地は問わない」のいずれかを回答している。



【問2-オ】アで(4)「作物によっては市内産であることを意識している」と回答した方に伺います。  
 どのような作物を購入する際に市内産であることを意識していますか？(複数回答可)

問2-オ	回答数
イチゴ	17
トマト	12
みかん	11
キャベツ	7
ブロッコリー	7
ねぎ	6
レタス	5
米	5
大根	4
タマネギ	4
イモ(じゃがいも、さつまいも、里芋等)	2
その他	(※)1

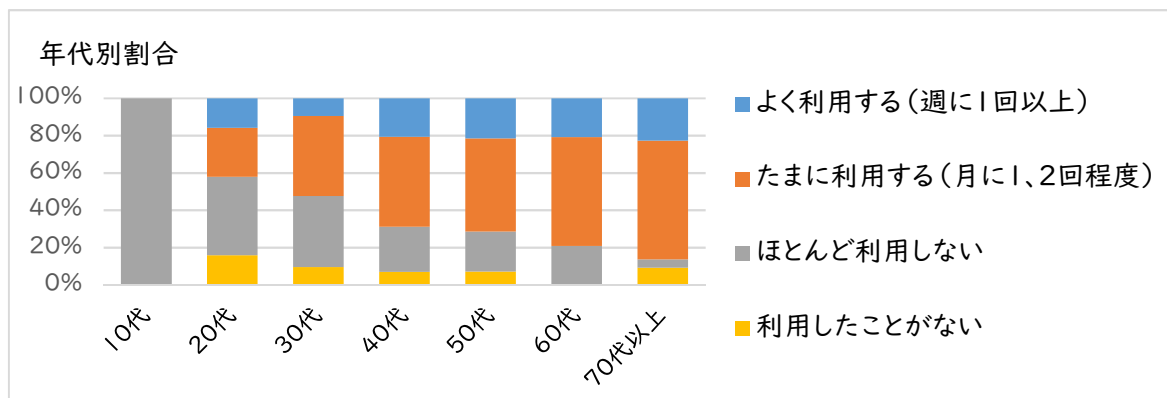
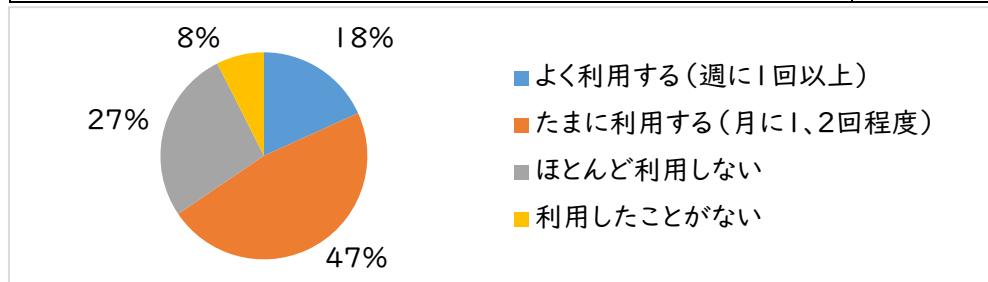
(※)その他回答:清水区の折戸なす(駿河区・60代)



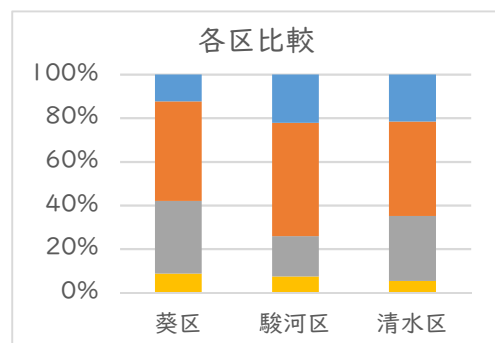
「作物によっては市内産であることを意識している」と答えた作物で特に多かったのは、市内で栽培が盛んな「イチゴ」「トマト」「みかん」であった。

【問2-カ】あなたは普段、農産物の無人販売（自動販売機）やファーマーズマーケット（農産物の直売所）等を利用しますか？（回答は1つ）

問2-カ	回答数
よく利用する（週に1回以上）	27
たまに利用する（月に1、2回程度）	70
ほとんど利用しない	40
利用したことがない	11



	葵区	駿河区	清水区
よく利用する	7	12	8
たまに利用する	26	28	16
ほとんど利用しない	19	10	11
利用したことがない	5	4	2



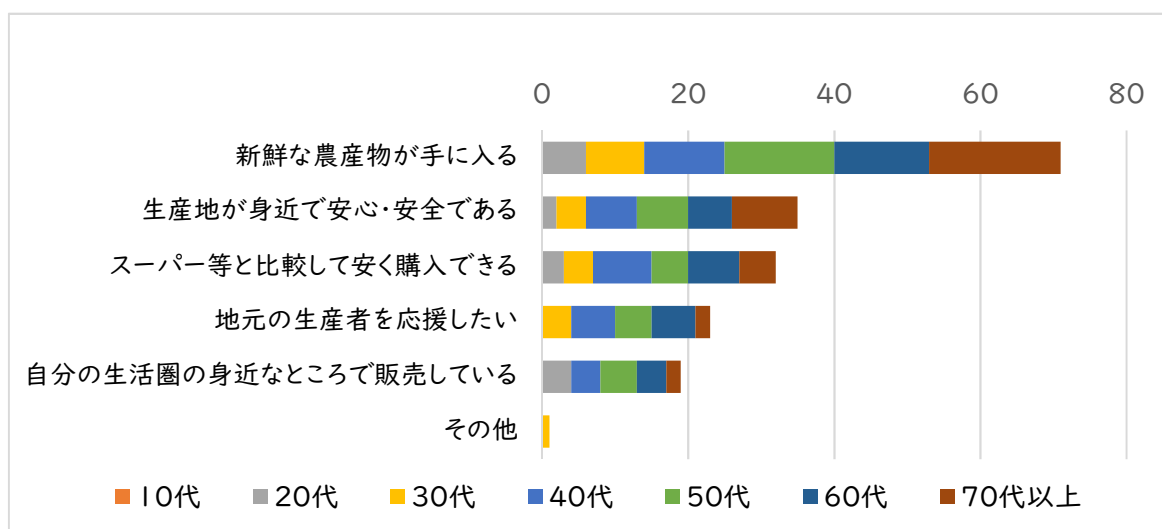
農産物の無人販売（自動販売機）やファーマーズマーケット（農産物の直売所）等を「よく利用する」と答えた人は18%、「たまに利用する」と答えた人は47%であり、合わせて65%の人が月に1回以上は利用すると答えた。

また、年代別の割合を見ると、年齢層が高くなるにつれて「利用する」と答えた人の割合が大きかった。

一方で、居住区ごとにおいては大きな差は見られなかった。

【問2ーキ】 カで(1)「よく利用する」または(2)「たまに利用する」と回答した方に伺います。農産物の無人販売機(自動販売機)やファーマーズマーケット(農産物直売所)を利用する主な理由は何ですか?(回答は2つまで)

問2ーキ	回答数
新鮮な農産物が手に入る	71
生産地が身近で安心・安全である	35
スーパー等と比較して安く購入できる	32
地元の生産者を応援したい	23
自分の生活圏の身近なところで販売している	19
その他	1



<その他意見>

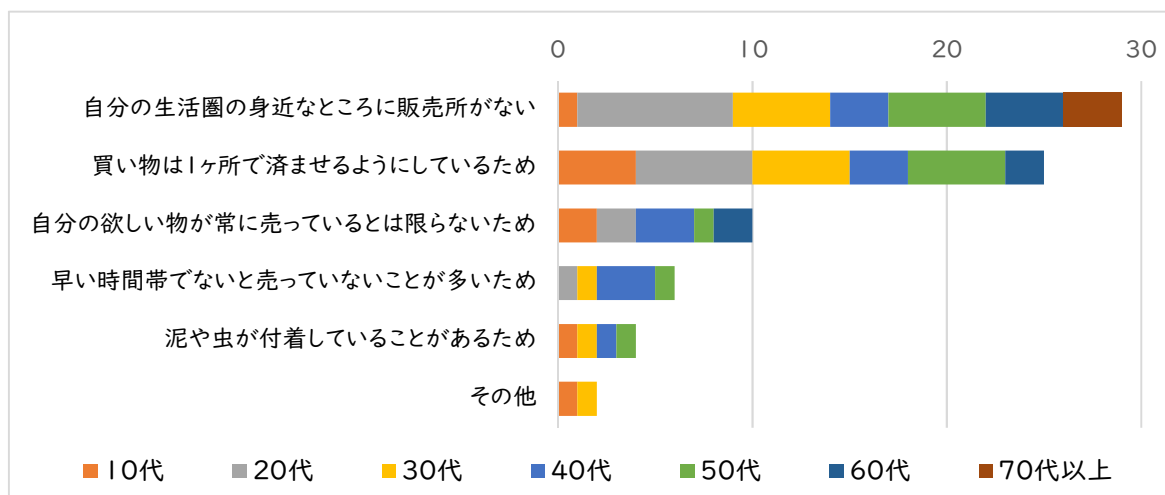
・変わった野菜が手に入る(葵区・30代)

農産物の無人販売(自動販売機)やファーマーズマーケット(農産物の直売所)等を「よく利用する」理由は「新鮮な農産物が手に入る」が突出して多く、次いで「生産地が身近で安心・安全である」であった。

一方で、「自分の生活圏の身近なところで販売している」という回答は最も少なかった。

【問2-ク】 カで(3)「ほとんど利用しない」または(4)「利用したことがない」と回答した方に伺います。農産物の無人販売機(自動販売機)やファーマーズマーケット(農産物直売所)を利用しない主な理由は何ですか?(回答は2つまで)

問2-ク	回答数
自分の生活圏の身近なところに販売所がない	29
買い物は1ヶ所で済ませるようにしているため(スーパーなどで他の食材と一緒に購入)	25
自分の欲しい物が常に売っているとは限らないため	10
早い時間帯でないと売っていないことが多いため	6
泥や虫が付着していることがあるため	4
その他	2



<その他意見>

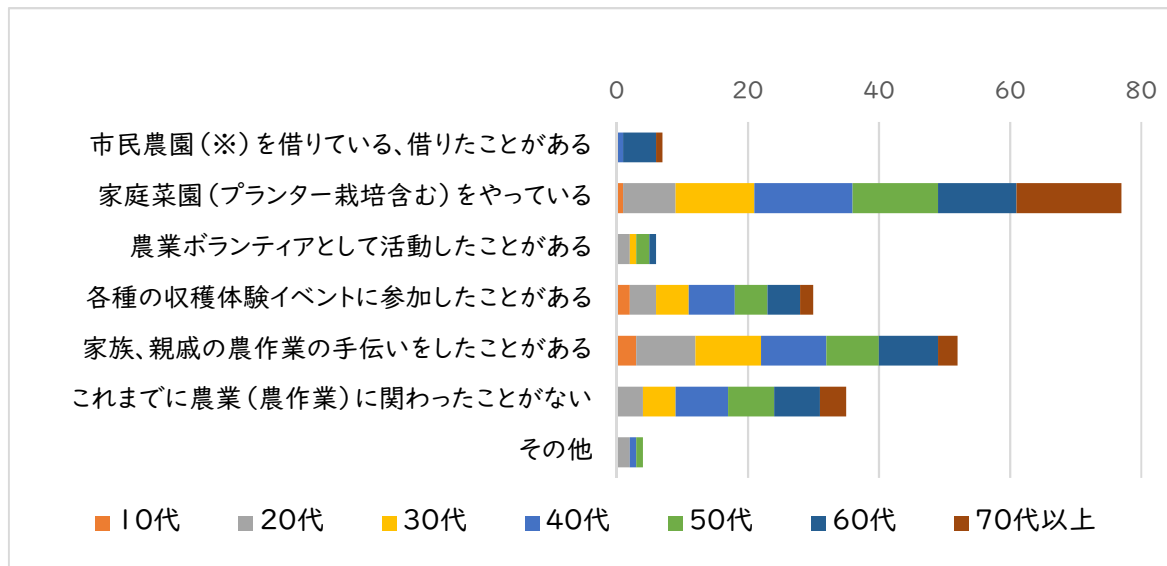
- ・学生なので自分で買い物をしないため(清水区・10代)
- ・どんな方がどのように作っているかわからないので。スーパーや農協などは一定の基準があるので信頼がある。(駿河区・30代)

農産物の無人販売(自動販売機)やファーマーズマーケット(農産物の直売所)等を「ほとんど利用しない」または「利用したことがない」と回答した理由は、「自分の生活圏の身近なところに販売所がない」と「買い物は1ヶ所で済ませるようにしているため」が突出して多かった。

【問3-ア】 あなたはこれまでどのような形で農業（農作業）に関わったことがありますか。（複数回答可）

問3-ア	回答数
市民農園（※）を借りている、借りたことがある	7
家庭菜園（プランター栽培含む）をやっている	77
農業ボランティアとして活動したことがある	6
各種の収穫体験イベントに参加したことがある	30
家族、親戚の農作業の手伝いをしたことがある	52
これまでに農業（農作業）に関わったことがない	35
その他	4

※市民農園とはレクリエーションや生きがいづくり等の目的で小面積の農地を利用して野菜などを栽培するための農園をいいます。



<その他意見>

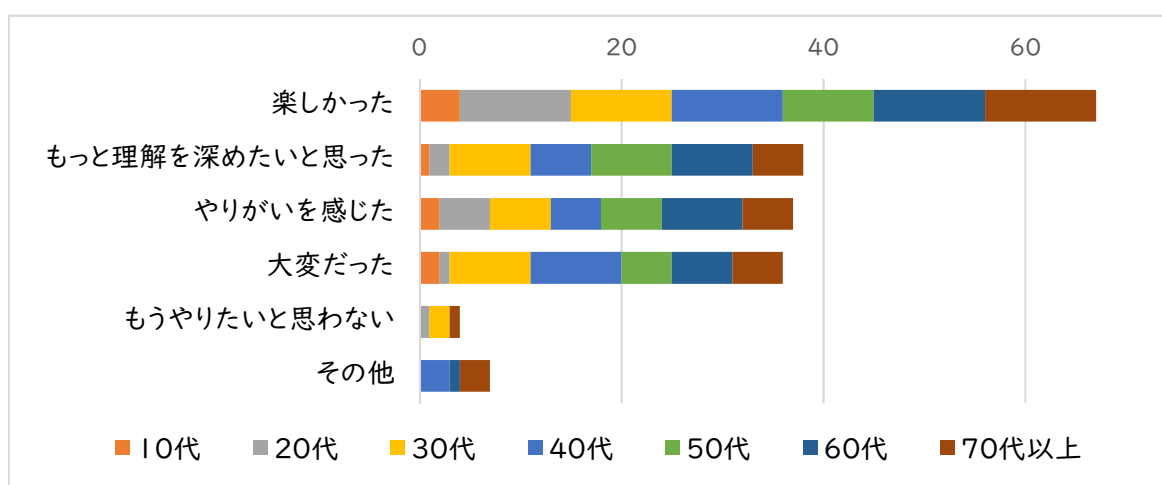
- ・学校の授業（駿河区・20代）
- ・仕事（駿河区・40代）
- ・保育園、小学校での体験学習（清水区・40代）

最も多かった回答は「家庭菜園（プランター栽培含む）をやっている」、次いで「家族、親戚の農作業の手伝いをしたことがある」であった。

「市民農園を借りている、借りたことがある」「農業ボランティアとして活動したことがある」と回答した人はいずれも少数であった。

【問3-イ】 アで(1)～(5)「関わったことがある」と回答した方に伺います。農業(農作業)に関わってどのような感想を持ちましたか?(複数回答可)

問3-イ	回答数
楽しかった	67
もっと理解を深めたいと思った	38
やりがいを感じた	37
大変だった	36
もうやりたいと思わない	4
その他	7



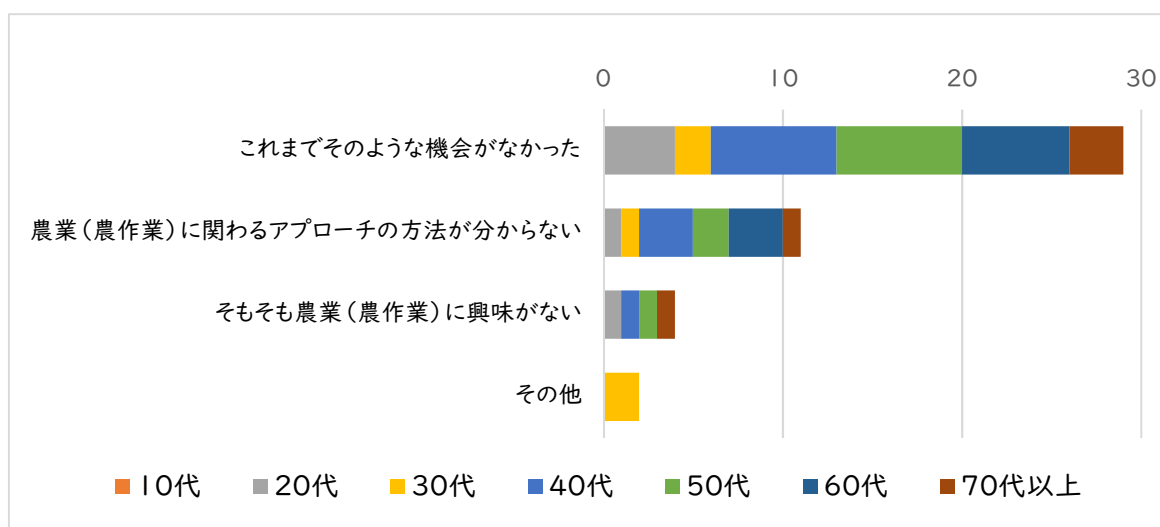
<その他意見>

- ・その気になっても長続きしなかった。(駿河区・70代以上)
- ・販売されているような農作物が出来るのはとても手間暇がかかるのだと感じた。(清水区・60代)
- ・自分は虫が大の苦手なので家庭菜園すら大変でした。しかし農家の方が毎日地道な世話をして、自分達が食べられる野菜が出来上がっているのだとわかり、有り難みと尊敬の念を抱きました。(駿河区・40代)
- ・野菜などスーパーで手軽に買っているが、自分で作ってみると生産者の苦労がよくわかる。農業使いたくなる。(葵区・70代以上)
- ・自分たちの食べているものは、これだけ人の手がかけていることを感じ、食材に感謝するようになった。(清水区・70代以上)
- ・思ったように育たなくて難しかったです(駿河区・40代)
- ・暑い時も寒い時も手を掛け育てる根気のいる仕事、黙々と行う仕事。(駿河区・70代以上)

「楽しかった」という回答が最も多く、「もっと理解を深めたいと思った」「やりがいを感じた」「大変だった」という回答がほぼ同数で、「もうやりたいと思わない」という回答は少数であった。

【問3-ウ】 アで(6)「関わったことがない」と回答した方に伺います。農業(農作業)に関わったことがない理由は何ですか?(複数回答可)

問3-ウ	回答数
これまでそのような機会がなかった	29
農業(農作業)に関わるアプローチの方法が分からない	11
そもそも農業(農作業)に興味がない	4
その他	2



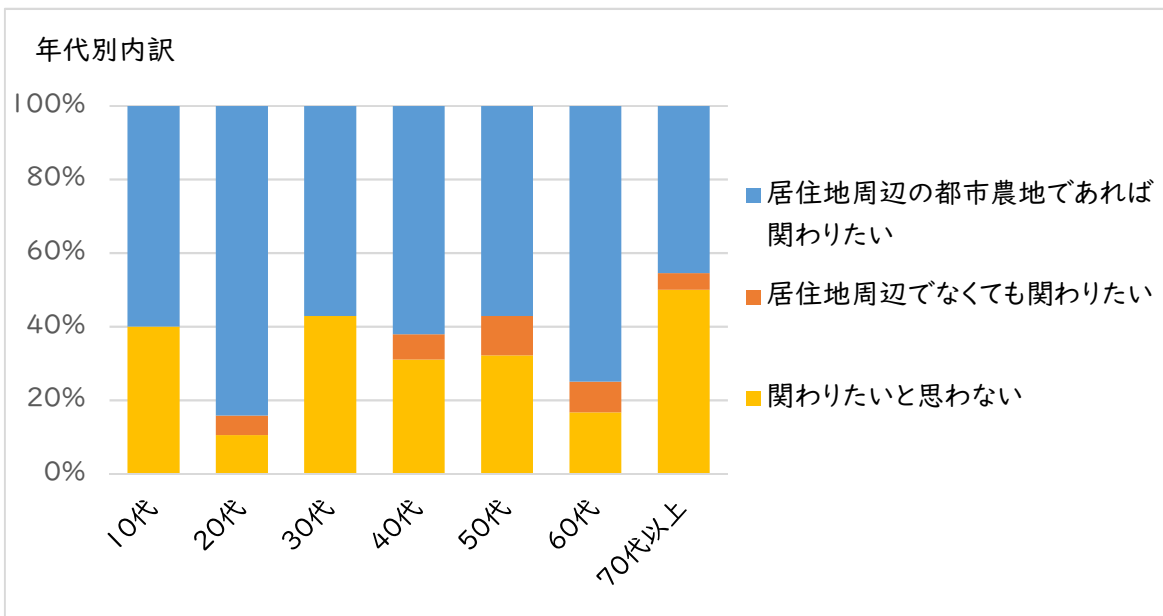
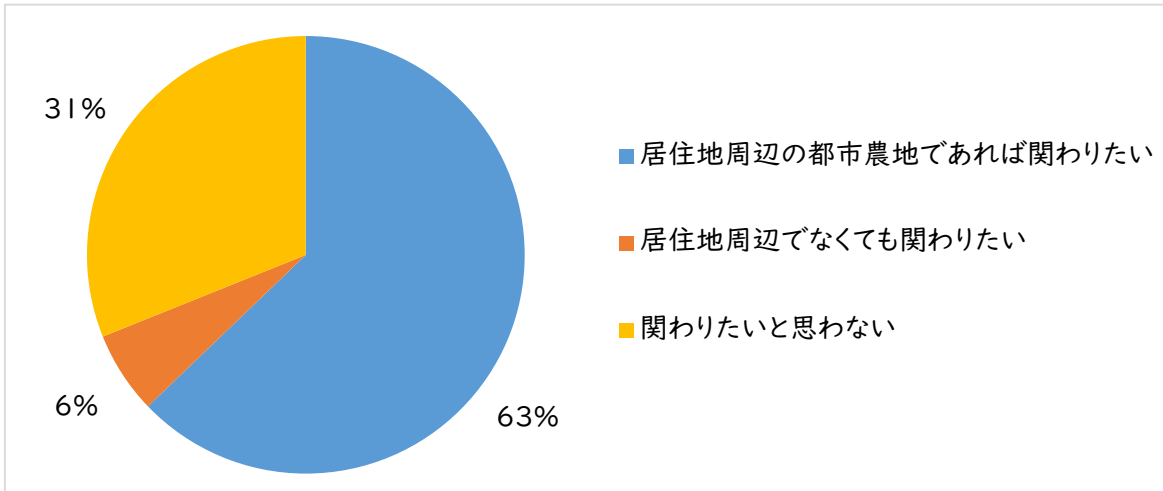
<その他意見>

- ・虫が怖い(葵区・30代)
- ・農作業をする体力がない、虫が嫌い(清水区・30代)

「これまでそのような機会がなかった」という回答が突出して多く、次いで「農業(農作業)に関わるアプローチの方法が分からない」であった。

【問3-エ】 今後、都市農地で農業（農作業）に関わりたいと思いますか？（回答は1つ）

問3-エ	回答数
居住地周辺の都市農地であれば関わりたい	93
居住地周辺でなくても関わりたい	9
関わりたいと思わない	46



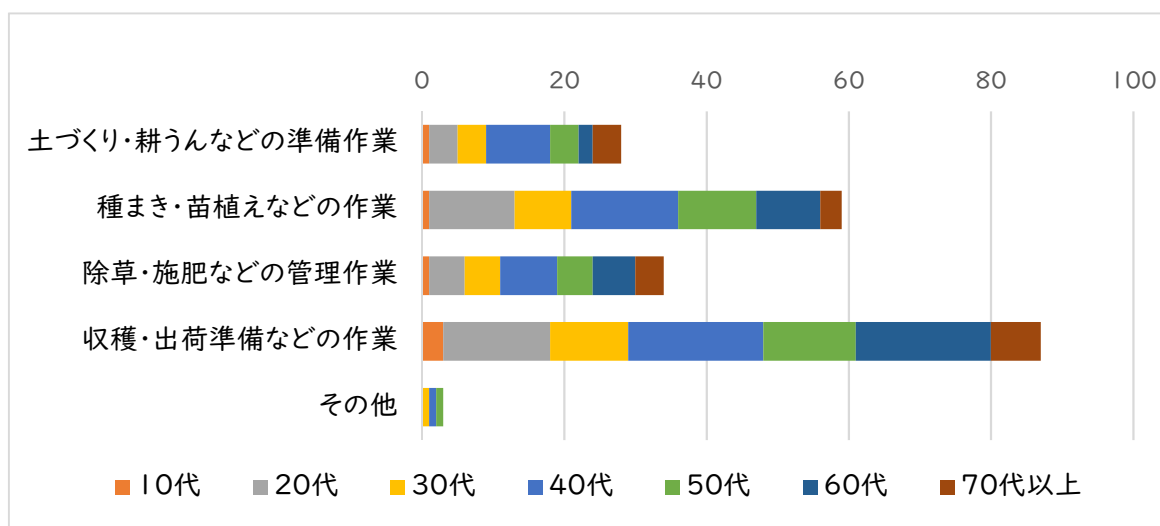
都市農業（農作業）について、「居住地周辺の都市農地であれば関わりたい」という人が約6割、「関わりたいと思わない」という人が約3割であり、「居住地周辺でなくても関わりたい」という人は1割以下であった。

また、20代と60代の年齢層で農業（農作業）に関わりたいと考える割合が高かった。



【問3-オ】 エで(1)「居住地周辺の都市農地であれば関わりたい」または(2)「居住地周辺でなくても関わりたい」と回答した方に伺います。どのような部分で農業(農作業)に関わりたいと思いますか?(複数回答可)

問3-オ	回答数
土づくり・耕うんなどの準備作業	28
種まき・苗植えなどの作業	59
除草・施肥などの管理作業	34
収穫・出荷準備などの作業	87
その他	3



<その他意見>

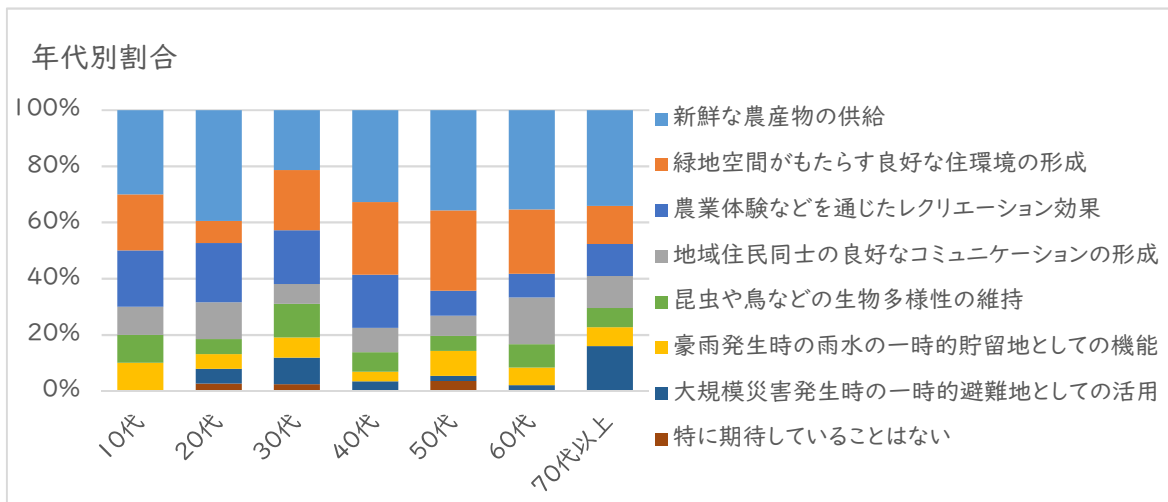
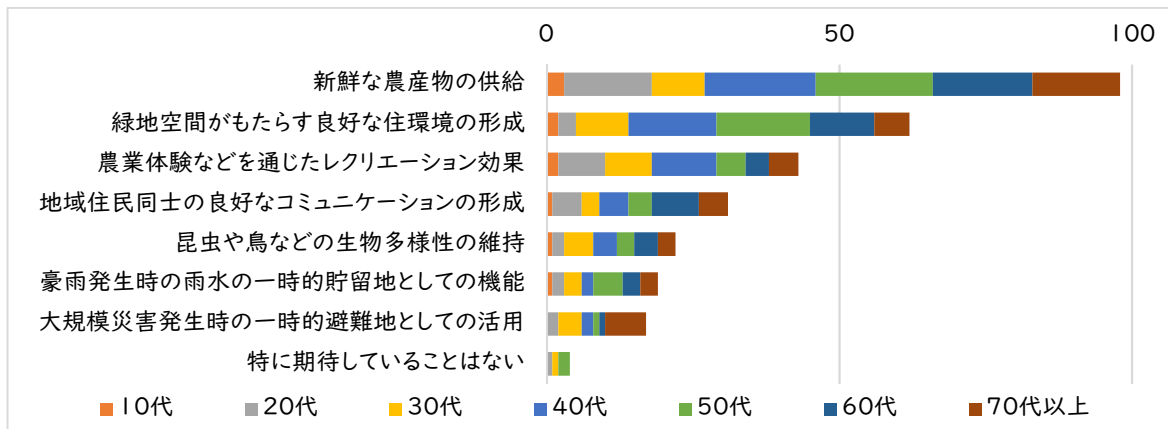
- ・市民農園を借りて農家の指導の元で農業に携わってみたい(駿河区・40代)
- ・販売等(葵区・30代)
- ・流通や販売など、マーケット全般(清水区・50代)

関わりたいと思う農作業については、「収穫・出荷準備などの作業」という回答が最も多く、次いで「種まき・苗植えなどの作業」であった。

「土づくり・耕うんなどの準備作業」といった、農作物に直接触れない管理作業については、相対的に回答は少なかった。

【問4-ア】 都市農業の振興（緑地空間の維持）が与える下記の効果のうち、あなたが期待するものを2つお答えください。

問4-ア	回答数
新鮮な農産物の供給	98
緑地空間がもたらす良好な住環境の形成	62
農業体験などを通じたレクリエーション効果	43
地域住民同士の良好なコミュニケーションの形成	31
昆虫や鳥などの生物多様性の維持	22
豪雨発生時の雨水の一時的貯留地としての機能	19
大規模災害発生時の一時的避難地としての活用	17
特に期待していることはない	4



都市農業の振興（緑地空間の維持）が与える効果に期待しているものについて、最も回答が多かったのは「新鮮な農産物の供給」であった。次いで「緑地空間がもたらす良好な住環境の形成」や「農業体験などを通じたレクリエーション効果」といった回答が多い一方、回答が少なかったのは「災害発生時の機能」についてであった。

【問4-イ】 アで回答した効果を発揮するために、あなたは何が必要であると考えますか。(自由記載)

新鮮な農産物の供給		
意見	居住区	年代
地域住民に対する、都市農業についての周知。	葵区	50代
JAの自慢市のような販売所の整備拡大。	駿河区	70代以上
地産地消と言われていますが、形こそ良くなくても新鮮でそこそこの価格であれば皆が沢山消費し生産者に喜ばれる事に繋がります。その場で生産者の顔が分かるよう看板に写真など貼ることもいいかもしれません。スーパーの方が時には安いけれど良さが分かればこちらを選ぶでしょう。	清水区	60代
地域の人に対して農産物を作っていることを周知する。	駿河区	20代
地産地消の必要性、どんな効果があるかを地域住民に周知すること。	駿河区	40代
農作物が買える販売所が何処なのか？市民が知ることができる案内等がわかるようにお知らせする。	葵区	50代
【これは地産地消に関する取り組みだ】という事を、事業の中でなるべく広く周知させるための活動。具体的には市の広報誌への掲載や、役所内にある動画画面に活動内容映像を流す。ファーマーズマークのようなものを制定して、未永く広報していくなど。	葵区	50代
農産物の販売所を増やす。遠くまで行かなくても、買いやすくする。既に置かれている所もありますが、スーパーやコンビニなどで販売する。	葵区	30代
スーパー売場の協力や拡大	葵区	40代
街中での販売所	葵区	60代
スーパーや商店にない新鮮で安価なB級品が大好きで、よく直売所に行きますが、やはりすぐ行ける場所がない事、行く時間によって行く日によって何も買わずに帰る日もあります。やはり販売所の拡大が必要。	葵区	50代
新鮮な農産物の供給のためには、農業従事者の給与を上げ従事者を増やし生産量を増強するのが良いと考える。	葵区	20代
無人販売の設置	駿河区	50代
現在もかなりのスーパーで地域の生産者の販売の場が設けられてはいますが、更に場を広げ、広報にも力を入れることで消費者の目に止まりやすくする必要があります。	葵区	60代
地産地消を推進するためコンビニエンスストアなどとの提携	葵区	40代
新鮮な野菜を安価で販売できる場所の工夫。ショッピングモールなど若者が集まる場所での販売(JA・直売所は行きにくいイメージがあります)。	清水区	30代
居住地周辺には地元農産物の販売所がありません。観光にも良いので、駐車場完備の販売所があると良いと思います。	清水区	50代

都市農業が事業として継続出来る仕組み作りが必須。虫食い状態の農地ではなく、ある程度の面積の区画を確保し地産の農作物としてアピール出来るだけの生産量を目指す。	清水区	70代以上
曲がった農産物もスーパーや販売所で購入できたら良い	駿河区	50代
販売経路の確保	駿河区	20代
スムーズな流通経路の構築	葵区	60代
農産物の供給に関し、徒歩で行ける所にファーマーズマーケットがない。わざわざ車を出してまで農産物を買に行く気も起こらない。コンビニ、郵便局等を活用した草の根的な販促の展開を行う必要がある。	駿河区	60代
販売所拡大、地域住民への販売所の周知、地産野菜のPR	清水区	30代
効果を最大限発揮できる若い人材が必要だと思います。	清水区	40代
生産販売の独創的、特殊・差別化が必要だと思う。	清水区	50代
そもそも都市農業の振興自体私は知らなかったもので、まずはこの事を知ってもらうために大いに宣伝するべきではと思います。	清水区	50代
農産物の販売所が多数あったら利用者が増えると思います。地産物が安心!と思う人多いです。	駿河区	70代以上
道の駅(150号線・久能地区)や旧久能街道(工事中)に農産物の販売所を整備する。	駿河区	70代以上
道の駅を設置し、農産物の販売拡大やPR。	葵区	20代
地元で生産したものはなるべく近隣で消費できるようにするために、ネットでの広告拡大。	清水区	60代
地産地消の推進のために、販売所を数多く設置することと、設置場所や農産物の種類、販売時間などをマッピングしたフリーペーパーなどがあると良いと思います。知りたいけれど知らないという人が結構いると思うので。	清水区	40代
農産物の販売所整備または拡充、地産地消の推進のための農産物販売所の周知。	葵区	20代
地産地消の推進のため、農家への経済的・物資的・制度的支援。日本の食糧自給率の低さの周知。農業や地域農産物に関する基本的知識を得るための学校教育、および社会人プログラム。	駿河区	30代
都市農家人口を増加させるため、休耕地を市が買い上げて希望者に無償や安価で貸し出す制度を作る。直売所を増やす。	駿河区	40代
積極的に農業に関わる人が増えるように、農業に触れる機会を設けた方がよいと思う。特に、子どもや若い人たちは大変そう、面倒などマイナスな感情を抱くことが予想されるため、親しみやすいイベントがあるとよい。	駿河区	20代
農産物販売所をより魅力的なものにすること。家族で楽しめるようなイベントなど。	清水区	10代

地産地消という言葉はよく聞きますが私の地元では農産物の販売所が身近にありません。新鮮な農産物(野菜)を欲しいと思っている人たちの為にも無人販売所などが増えると嬉しく思います。 作業中の農家の方にはご迷惑になってしまうかもしれませんがお声をかけちょっとしたおしゃべりや採れたての新鮮な野菜などを分けていただけるチャンスがあれば嬉しく感じます。	清水区	70代以上
地元の農産物がどこで売っているかわからないので、もっと宣伝したらいいと思います。興味がある人だけでなく誰もが目にする場所にのせてほしい。	駿河区	40代
地産地消の推進のため、農産物販売所の整備や拡大。	駿河区	50代
行政の積極的なフォロー(情報発信、税制、普及活動、専門家の助言)	駿河区	70代以上
市内産の農産物であることが伝わりやすい販売方法の検討、市内産の農産物を購入しやすいよう、販売所の拡大。	葵区	20代
地域の四季折々の農作業や収穫時期など魅力的にPRする。また農作業をやってみたい、関わってみたい人を広く募る。	駿河区	70代以上
地域でとれた作物を地域で消費するため、また地域の発展(市外からの人の流入)のため、作物を販売する施設の設置(ファーマーズマーケットなど)。	清水区	40代
若い農業従事者を増やす	清水区	50代
ネットなどで野菜なども購入出来て便利な反面子供たちが野菜に触れ合う機会が減った。小さなうちから農業を通して食育などをする事で将来的に農業が身近になるのではないか。	清水区	20代
農作業従事者が高齢化している事が心配なので、若い世代が耕作放棄地を作らない様に従事出来る様になったら良いと思います。JA がやってる事業を市でもやって欲しいと思います。	清水区	70代以上
静岡ブランドの米開発	葵区	50代
地産地消の推進のため、子供の食育	駿河区	20代

農業体験などを通じたレクリエーション効果		
意見	居住区	年代
販売経路の確立と、関わる人同士の連絡やコミュニケーション手段の確保。そのために、こども園や小中学校での体験を通じて子どもと親それぞれの繋がりができればいい。	駿河区	40代
自分の家族はもともとお茶農家だったが、とても生活出来ないなので、お茶は全て抜いて、みかんや野菜を作っている。子供たちが体験できる農場をやれたらいいなと思っています。	駿河区	40代
体験型クラウドファンディングがあれば面白い。出資者を募り、管理者を設置、節目ごとに出資者を集め体験し収穫を行う。期間は1年間として、数種類の農作物対象。生花も対象。調理まで含めたら尚良し。	駿河区	30代
農業体験の機会を多く設け市民に広く周知する。	葵区	20代
市民のアイデアを巻き込んだイベントや指導会などの企画と実施。	葵区	60代
ライフスタイルも変わり、農業に興味がある若者が増えているように思います。作物を購入する販売所の整備も大事ですが、農業に関われる機会が増えると嬉しいです(農業のノウハウを知りたい)。	葵区	60代
主催となる団体の確保と広報活動	清水区	30代
定年退職者の活用システムの構築	駿河区	70代以上
子どもたちが幼いうちから、食べ物の作り方やでき方を学び体験し、興味を持ってもらうことが必要だと思います。農業を選択できるような学習体系も必要だと思う。	駿河区	20代
地域住民への啓蒙活動として、種蒔きや収穫時期に合わせた家族で参加出来るイベントの企画や広報活動が重要だと考えます。また、生涯学習施設(カルチャーセンターなど)で、農業に関連した知識の習得が出来る場の提供があると良いのではと思います。	駿河区	60代
都市農地の機能、内容の周知。知識のある農業経験者(高齢者等)の参加。幼稚園、保育園、学校での活動参加。	駿河区	20代
農業は1年を通して継続的に関わらないといけなくて、自分参加しようとは思えない。しかし、種まき、田植え、除草、収穫等作業を分割し、ピンスポットの的に市民が参加できるような体験会を行えば理解が深まると思う。	葵区	50代
都市農地の持つ機能の周知もさることながら、やりたい人は一定数いると思うのでハードルを下がる取組をする。例えば利用料を下げる、税制優遇措置、利用手続きの周知と簡便化など。	清水区	40代
農業発展のため、もっともっと関連設備の充実が必要。	葵区	70代以上
地域に住む人(子ども達にも)に様々な視点からの農業の大切さを周知していく。世界情勢が変化するなか日本で作物を作り自給率を上げる必要性を伝える。農業体験などを実施する。	清水区	40代

清潔で整っている、整備されている施設を作ること。	葵区	10代
地域住民に対し、農業を身近に感じる場となり、これまで農業に関わりがない若い世代に農業を知ってもらいたい機会の場となりそうです。	葵区	40代
地域住民へ農地活用のPR	葵区	70代以上
地域の人に興味を持ち利用しやすい都市農業の企画アイデアと、広く伝わる宣伝。	清水区	40代
気軽に農業体験ができるように、市民のために解放、管理された農地の整備。農業体験イベントの開催。耕作放棄地を把握。	駿河区	40代
地域住民が都市農業に参加する仕組み、機会を行政が企画する。	駿河区	50代
都市農業の周知のための農業体験や交流会、広報。	駿河区	40代
子どもたちを対象に定期的農業体験の開催	葵区	60代
より気軽に農業ボランティアに参加できるような仕組みづくり(体験ツアー? 傷害保険に加入する?等)→農業に関心を持つ人、かかわる人が増えることにつながる。市民から意見を募ること。	駿河区	50代
共有農地の確保。できれば自治体を中心となってイベント的に植え付け、収穫などを行なってもらい、老若男女参加できる機会を作ってもらおう。	葵区	40代
教育の場とする場合、学校や地域との連携。	駿河区	40代
人手(教えてくれる方)が必要。	清水区	40代
参加しやすい条件であることを前提に、参加したいと思うような農業体験プログラムの企画。	葵区	20代
地域住民が農業に気軽に参加できるイベントや畑の提供。	清水区	40代

緑地空間がもたらす良好な住環境の形成		
意見	居住区	年代
駐車スペースの確保	葵区	70代以上
都市農業を行ううえでの、機能について地域住民に伝える。	葵区	20代
都市農地の有効性を地域住民に理解してもらうための周知活動。	駿河区	30代
農業活動を適切に継続し、緑地帯として維持できる管理体制への支援。	葵区	60代
広報紙による機能の周知	葵区	60代
地域住民が不快に感じないように管理されている必要がある。	清水区	60代
農家の代替わりで、農地だった土地を売り、その土地に、隙間なく住宅や、マンションを建設しています。私の地区でも、田んぼがなくなり、風が通らず、見通しも悪く、このままどんどん田んぼがなくなっていくのかと思うと、怖くて仕方ありません。 農家をやりたい人に、農家の方の土地を貸して、その代わり、農家の代替わりの相続がうまくできるような仕組みができれば、緑地空間も維持できるような気がします。	葵区	50代
後継者問題の解決	駿河区	30代
緑地空間が維持できるように行政の対応をお願いしたい。なかなか農業を継ぐ跡取りが少なくなっていると良く聞きますし、いままで畑だったのが宅地になっていることがよく目かけます。農地だけではなく公園化などの対策を含め良好な住環境対策をお願いします。	清水区	60代
地域の治安の安定	葵区	40代
緑地空間の定期的な手入れ	清水区	50代
荒廃化している農地の整備・活用、次世代の農業従事者の育成	駿河区	30代
使用できる農地の整理と管理	清水区	50代
地域住民の理解と説得	駿河区	60代
地域住民に対して、『都市農地』の言葉を周知することから始める。	葵区	70代以上
良好な住宅環境の形成に関し、休耕時には花を植栽する等緑を絶やさないことが必要である。	駿河区	60代
地域住民への周知としっかりとした管理	駿河区	50代
緑地拡大を促す助成金等の拡充	清水区	40代
人体に害の少ない農薬の使用、害虫発生を抑えること。	駿河区	40代
都市農地によるメリット・デメリット、影響を周知する。	清水区	30代
税の優遇。空き地や空き家を潰して更地にし、緑地化した土地の固定資産税を0円に。ヒートアイランド現象、温暖化、空き家対策も兼ねて。	葵区	50代
市街化区域内の農地を絶やさないこと。市で、遊んでいる土地を農地として整備して市民に貸し出す。	葵区	40代
自然の維持	駿河区	50代



地域住民が都市農地に興味を持つ為の周知	葵区	50代
害虫、臭い、騒音のため、ある程度住宅地と距離を置くのが良いと思う。	駿河区	50代
休んでいる緑地地区を活用した土地の確保	駿河区	70代以上
地域住民に対し、都市農地の場所の周知。 公園等に隣接した場所に都市農地を整備し、そこを町内会で借り受け、子供会や町内会などで収穫体験などのイベントを行う。	葵区	40代
都市農業の有する多様な機能の周知と、必要性の理解を深めること。	清水区	30代
都市農地の確保が何よりも大切だと思います。耕作放棄地が宅地化されていて、緑が少なくなっています。耕作放棄地を持っている人が売らなくても済むように固定資産税の優遇などして、耕作放棄地をNPOなどに貸し出すようにすれば地域のコミュニケーションの場になると思います。	葵区	50代

地域住民同士の良好なコミュニケーションの形成		
意見	居住区	年代
住む人たちの受けるメリット 良さを知らせる。都市農業の見学会の開催。	駿河区	70代以上
地域で農作物を栽培、収穫、消費していくことの重要性を住民に訴える。ひいては食料自給率も向上し、昨今の不安定な世界情勢の中、少しでも憂いが緩和されるというメリットを伝える。農地に携わることへのメリットがある程度分かれば、地域社会に興味がない人への関心も集められるのではないかと。薄れゆく地域コミュニティを活性化させるためには、(自治体活動のような)責任感や善意ある人による持ち回り制ではなく、携わることによって何かしらの恩恵を受けられるという仕組みが今は必要だと思う。	駿河区	30代
住宅街においては、地域住民が積極的に参加し世代を超えた交流ができるようなコミュニティの場になるようにしていく。	葵区	20代
地域の保育園や幼稚園、学校等と連携し、種植えや収穫など農業に関わる機会を作ることが必要だと考えます。地域の人と子どもたちのコミュニケーションがとれますし、この活動に親も参加すれば更に地域コミュニティが広がります。また、子どもたちが農業に触れて、農業に関する興味、理解を深めることで、今後の都市農業の発展にも繋がると考えました。	清水区	10代
運営に際しては、行政の支援。活動については、専門家やNPOの支援と自治会や町内会を中心とした勉強会。	清水区	60代
施設入所した義母の家の管理を兼ね、20坪の空き地を利用して2年前に栗の木を植えて、その回りで草花や農作物を少し作り始めました。始めてみると近所の方からお声掛けを頂いたり、通学路なので児童の見守りにも役立っているとお声も頂きました。現在、宅地としての税金を払っていますが、農地として菜園を作る際の税制上の優遇、新規参入の小規模農業の奨励や相談などをお願いしたいです。	駿河区	60代
地域コミュニティの維持	清水区	60代
徒歩で行ける圏内に販売所を複数設置し、運営を地元の人に委ねる。	葵区	60代
自治会等地元との連携、高齢者の活用、子どもたちの参加。	葵区	60代
農業への理解とそこで得られるコミュニケーションや収穫の喜びを話し合える場があれば。	清水区	60代
家庭菜園など地域町内での講座開催や情報交換などコミュニケーションをとるための活用法を検討する。	駿河区	40代

大規模災害発生時の一時的避難地としての活用		
意見	居住区	年代
メディアで取り上げ、メリットとデメリットを客観的に知らせる必要があると思います。	駿河区	70代以上
住民に対する周知が必要。	葵区	30代
耕作放棄地の減少対策として行う。	駿河区	70代以上
地域住民への都市農地の場所、機能及び存在意義について啓蒙周知。	駿河区	50代
休耕地にしない、ならないための対策調査。	駿河区	70代以上
倉庫等を避難時に使うことを前提に、やや広範囲の農家さんを含めて販売ができるよう、農産物販売所の整備、大型化。	駿河区	70代以上
一時的避難地としての役割があることを周知し、人々が活用できるようにしておく。	駿河区	20代
農地はある程度、規模をまとめて活用できるように、地権者、住民の協力が第一に必要なことと思います。そのうえで早期に推進していただく。	駿河区	70代以上
市内で BCP の民間版のような計画の中に都市農業の振興による避難地及び貯留地としての具体的機能や運用効果を定め、見える化を実施する。それを踏まえ各年代に合わせた広報ツールを活用し活動を実施していくこと。	駿河区	30代
農地の機能について周知が必要。私自身このアンケートで知ったこともあり、農家さんとの関わりが普段からあまりないと知らないこともあると感じたため。最終的には地産地消が理想だが、まずは地域の方々に農業について知識を持ってもらうのが先なのではと思う。	清水区	20代

豪雨発生時の雨水の一時的貯留地としての機能		
意見	居住区	年代
地域住民に対する、都市農地が持つ機能の周知。	葵区	40代
その場所、地区において必要な事、要望が違うと思うので、住民の聞き取りをして必要な事をやってほしい。私の住む場所は水害があるので、主に大雨大潮対策に特化した緑地計画をしてほしいから。	駿河区	50代
災害時の機能について知ってもらう(学校の授業などで扱う)。	駿河区	20代
地域住民が、都市農業のメリットを知ること。	駿河区	30代
豪雨時の避難場所等、あまり認知されていないと思いますのでこれも広報活動対象だと思います。	葵区	60代
定期的な点検	葵区	60代
費用対効果の検討、地域住民の理解を得ること(メリット・デメリット双方の周知)。	清水区	30代
農業後継者の確保育成が必要だと思う。後継者がいないために廃業や耕作放棄があると思う。農業は伝統的に農家が引き継いで続けられて来たが、たとえば会社組織にするなど、より開かれた運営方式の検討が望まれる。市は、JA等と協力して、持続可能な都市農業の構築を目指して欲しい。	葵区	70代以上
周辺地域の住民の理解	駿河区	10代

昆虫や鳥などの生物多様性の維持		
意見	居住区	年代
農地が持つ多面的機能の周知・啓発	葵区	40代
昆虫や鳥など人間以外の生き物との共存	駿河区	50代
農作業をする担い手の確保、無農薬等生物に害を与えるものの排除。	駿河区	20代
多様な種類の農作物を育て、様々な動物の集まる場所とすることで、様々なレクリエーションを開催できると考える。	駿河区	30代
生物多様性の維持のため、農薬を無闇に撒かない。	葵区	60代
有機栽培農家の優遇措置と農作業の省力化による魅力向上	葵区	60代

【問4-ウ】 静岡市の都市農業の振興にあたり、今後に期待することやご意見等ありましたらお聞かせください。(自由記載・分類は「静岡市都市農業振興基本計画」の「基本方針と施策展開」による)

生産振興及び担い手の確保・育成に関すること		
農業者の子孫継承が必要である。	葵区	40代
野菜が好きなので、美味しい野菜が安く手に入ればなと思います。	葵区	20代
新鮮な野菜や果物が近くで手に入ったらいい。	駿河区	70代以上
静岡市は至る所に無人販売所があり、外から来た私にはとても魅力的に感じます。商品も野菜や果物など様々な種類が見受けられ非常に強みになると思いますので、無人販売所の有効活用に期待したいです。	駿河区	30代
安価で、新鮮な農作物が手軽に購入できるようになると、嬉しいです。	葵区	50代
少しでも安価なものが手に入ると嬉しい	葵区	30代
生産者も利用者もウィンウィンの関係となるような地産地消の場所を作り、生産者には割高、利用者には割安となるような中間費用を省ける市場の設立や運営で、生産者の経営安定や維持継続体制の保持と利用者のメリット感による都市農業振興への理解や伝播。	葵区	60代
街中での販売及びそれらを使った飲食店	葵区	60代
地元農業が生産者にとって儲かるものになって欲しい そして良い静岡野菜が増えて欲しい	葵区	20代
特にミカン畑や茶畑が放置されている残念な光景を目にします。後継者問題や利益に問題があるのかもしれませんが、対策を考えて欲しいと思います。レモンやオリーブなどは、静岡の気候に適していて静岡のイメージにも合致していると思います。	清水区	60代
農家の方の名前入りの野菜をよく買います。美味しい野菜を作る農家さんの名前は覚えてしまうほど。作った人の顔が見えたり、近くで作った野菜だと思うと、安心して買えますし、天候不順で、多少高くなっても応援したいと思い購入します。 もっと、色々な近い所で、農家さんが販売できる場所ができれば、嬉しいです。	葵区	50代
なかなか難しいですが、農業全体に対する振興対策をお願いします。何を如何するという具体案はわかりません。	清水区	60代
作っているその場所で販売できる環境が理想	葵区	40代
新鮮な農産物を地産地消出来るようになる事。 国民全体が農業を身近に感じることで食材への知識を身につけ健康管理をおのおの出来る様になれば良いなと思います。 又、農業を交流の場として活用して年齢問わず国民の交流が深まれば豊かな生活になるかと思っています。	清水区	20代

<p>最近スーパーでも地元野菜を取り扱うようになり、気軽に買えるようになったのでいいと思う。今後食糧問題はおきるので、なるべく地産地消、自給自足ができるように、市としても農業生産者を支えてあげてほしい。特に高齢生産者の後継者がいないところが多いと思うので、それをどうしていくか、市民が単発的に関われるようなシステムができるといいと思う。</p>	<p>葵区</p>	<p>50代</p>
<p>静岡は気候にも恵まれており、農業も盛んなので体験したい人の掘り起こし、これまでの営農経験者が都市農業への切替、転換を図ってもらおう。</p>	<p>清水区</p>	<p>40代</p>
<p>食料を輸入に頼ると、供給が不安定になる心配があります。 地産地消を、広報等で宣伝する。 農家の収入が多くなることで、後継者を育成する。</p>	<p>葵区</p>	<p>70代以上</p>
<p>若い人たちが気軽に始められるような環境づくり 以前、日本平での畑のレンタルを情報誌で見たが、1度きり。HPで調べても出てこない。専用のサイトで見ることが出来ればいいのではないかと思います。</p>	<p>清水区</p>	<p>30代</p>
<p>叔母が高齢のみかん農家ですがもう数年後には廃業するしかない状況になっています。 また、叔父が亡くなってわかったことですが放置の山林や、農業用のモノレールでしか上れないみかん畑はモノレールの老朽化で危険で上がれず耕作放棄地となっていました。 以前はお茶も作っていたのですが、福島原発の関係で、保証金の申請の仕方が分からず震災の翌年にお茶の生産を止めてしまいました。 後継者として農業関係の大学を出た息子は、地元の農業に見切りをつけて北海道の農協に就職してしまいました。 一農家の問題ですが清水の農業の縮図だと思います。 ○農業の魅力の発信のための市街地農地の開発 ○山間部の小規模農地の統合 ○採算の取れる作物への転換による農業就労者の増加施策 ○農機具のサブスクリプションの推進 ○高齢の農家への労働力の提供 ○中学校学校教育における農業の推奨 以上思い付くままに書かせて頂きました。 農協任せでない抜本的な市政中心の農業改革を望みます。</p>	<p>駿河区</p>	<p>60代</p>
<p>身近で作られているものを口にできる安心感はとても良いものと感じます。未来の為に行政が静岡産を盛り上げることはとても大切だと思いました。</p>	<p>清水区</p>	<p>50代</p>
<p>安全安心な農産物を身近なスーパーで販売していけば良いと思う。</p>	<p>駿河区</p>	<p>50代</p>

好きな所で、好きなようにやれば良いと思います。長期でリスクリワードを考えて、やってみる事が良いと思います。	清水区	50代
地元の食材が毎日の食卓に並んだらすごく幸せだと思います。静岡市はとても広いので、各地域ごとで様々な野菜、果物が収穫できたら本当に素晴らしいですね。 ファーマーズマーケットが近くにないお宅でも販売所一覧マップが手元にあったら、気になる方は足を運ぶと思います。あと生産地一覧マップなども土地勘がある市民には興味が湧くのではと思います。(私はJAの番組など結構観ます)	清水区	50代
行政が積極的に、また農家の人たちと一緒に盛上げていくことだと思ふ。また農家の人たちだけが一生懸命になっても一般には伝わらないので、行政は農家を引っ張っていくような心意気が必要だと思ふ。	葵区	60代
静岡市都市農業振興 NPO 法人を設立(JAとは別)して、緑地空間農家や用宗漁業組合と契約。海産物と農産品の販売。 法人設立に当たり若い人の緑地空間農産物生産者と商品販売者の雇用を促進する。少子化寄与(Uターン、Jターン) 幅広く販売を行うため乗用車・観光バスの駐車場確保(150号・新東名近く開発地) 清水・駿河・葵区(井川・安倍川)の農海産物の販売。 時折、土日祝日・季節毎に規格外の商品販売を行う。(例:富士宮うみやーな)	駿河区	70代以上
若年層が農業をしたいという思いが強くなる事が大事ですよ。	駿河区	70代以上
静岡市(特に旧静岡市)は平坦地が少なく、そのビハインドが色々な可能性を無くしてしまっている感も否めません。都市農業の周知→販路拡大→市民が簡単に(新鮮で安価な)地元産の野菜果物を入手することができる土壌づくりが必要だと思います。	葵区	40代
野菜果物など移動販売できるように、定期的に(例えば毎月第一〇曜日午前中など)巡回できるようなシステム。 理由は、高齢化で販売店舗まで足を運べない方もいると思うので、農業振興に寄与できると思います。	清水区	60代
宅地造成や産業土地の拡大で、農地が明らかに減ってしまい、景観もかなり変わりました。子供たちへの食育という観点からも、身近なところでの地産地消をもっとすすめられたらと思います。	清水区	40代
全国の都市農業地域の中で、持続可能な都市農業の取り組みをしている事例を紹介し、それに積極的に取り組もうとする農家をバックアップする方式を作ったらどうか。事例を広く周知させる事も大切だと思ふ。	葵区	70代以上
地産地消の推進のため、農家への経済的・物資的・制度的支援。	駿河区	30代

農業の仕事を理解するのは大変です。天候に左右され 農薬、害虫駆除、手入れ。市で援助して盛り上げていけたら良いですね。	清水区	60代
住みやすい市だと認知されている静岡市なので、生活に密接する農業の振興は市の発展に大きな影響があると思います。都市農業が盛んになることを期待しています。	清水区	10代
農家がどんどん減っていて、将来の日本が心配。高齢者が増えるので、定年したら農業をみんなでやればいい。今の高齢者は元気なので！国産の新鮮で美味しい野菜や果物が食べたいです！	駿河区	40代
中国産は食べたくないで国産野菜のみ買っています。国産の野菜は安心して食べられます。	駿河区	60代
新鮮なものを新鮮なうちに食べることができる環境が理想。市内で作っているものが沢山あっても、一般の人がそれを入手するのはごく一部だと思う。ここに行けば手に入るという場所が、もっと近くにあればいい。	駿河区	50代
農業に興味がある若者移住者に対し、税金、家賃、一時金等で優遇することにより、少子化、空家対策にまで発展させる。	駿河区	70代以上
地産地消の拡大や、安心安全な野菜を生産できるように、みどりの食料システム戦略のオーガニックビレッジに取り組みを期待します。	駿河区	40代
都市農業を振興していくことはとても良いことだと思います。ただ、農業全般から見ると、農業の担い手が高齢化し、荒れている農地も多い中、後継者対策や農業で生計を立てていける環境整備・施策にも、静岡市として力を入れてほしいと思います（既にやっていると思いますが）。また、静岡市（清水区）を盛り立てるために、静岡市が運営・企画しファーマーズマーケット設置計画を検討してほしいです。	清水区	40代
高齢で農業を辞めざるをえない人と、農業に興味のある若者とのマッチングなどをお願いしたいと思っています。	清水区	70代以上
野菜の値段が上昇しているの、運搬費が少なく安価に抑えやすい地元の作物を買えるようにしてほしいです。	駿河区	20代
また都市農業をビジネスとして成り立たせれば良いなと思います。ずっと管理するのは大変だと思うので管理人のような方がいれば仕事も増えし利用者も気軽に利用できると思います。	駿河区	30代
他県の農村地域から移住を促す都市農業地区を制定し、都市でも若干郊外の公共設備等を再利用する。	葵区	50代



高付加価値化及び6次産業化の推進		
静岡市ブランドとしての価値を展開すること。例えば久能山のいちごのように。静岡市はパクチー生産もしていると聞いたことがある。他市町村などでは生産量が少ないものを推進するブランド商標があるといいのではないか？ 麻機れんこんも全国放送で取り上げられたこともあるように出荷量も増やせる何かがあれば農業も活気が出てくるのではないか？またその品を使用しての商品開発が進めばなお良いと考えます。	葵区	40代
これぞ静岡市という特性を出したい。	清水区	60代
この作物なら静岡市というような、特徴のある農業を都市農業で実現させて欲しいです。	駿河区	50代
価格競争では大量生産している産地では勝てないので、各設問で挙げられていたような工夫を推進していく必要があると思います。プラスアルファで新しい案があれば、参考にしていくのもよいと思います。	駿河区	50代
女性委員の方はいらしゃるのですか。「じまん市」や「グリーンセンター」等ファーマーズマーケットで購入する機会が多いのは女性です。買う側の意見はどうでしょうか。道の駅やコンビニ、お寿司屋さん、喫茶店の店先などプロと並んで自家菜園のものが100円から売られています。生産物に付加価値を付けて販売することも必要になってくるのではと思います。	駿河区	70代以上
地元の食材を使った料理教室の開催	清水区	50代
静岡市オリジナル農作物料理の味の向上。	駿河区	30代
またファーマーズマーケットなどと連携した農産物の販売や、市内の料理専門学校の生徒さん達による地元農産物による新しい食の提案などへの協賛も期待しています。	駿河区	60代

優良農地の確保と利用促進		
現在、藤枝市に勤務していますが、藤枝駅から歩いて10分程度のところにも田畑があります。単に開発が進んでいないだけかもしれませんが、街中に田畑があるとほっとします。ただ、農地として維持していくには、色々な苦勞があると思うので、それを軽減できる施策があればよいと思います。	駿河区	50代
静岡市内の至る所に、無法地帯が多いと思います。(以前は畑で地主が手に負えなくなってしまったような土地)そういった土地を手放したくても何らかの事情で手放せない人もいると思うので、市が政策として考えていくべきだと思います。	駿河区	20代
現在住んでいる地域は、市街化調整区域にあたり、自宅の周りにも農地が沢山あります。しかし、農地を所有している方が高齢化し、農作業が行えなくなり荒廃化したり、農地として利用していない土地もあるように思います。災害や子育て環境の観点から、当地域に住みたいということの子育て世代の友人から聞いたりしますが、市街化調整区域のため土地の購入や住居の建設に制限があり、移住を断念せざるを得ないのが事実です。農地を守っていくことは地域にとって大切なことと思いますが、高齢化により農業の担い手がなくなってしまうのは当地域での都市農業の振興にあたり課題の一つではないかと思っています。 最近では子育て世代の方や若年層の方も農業に関心のある方も少なくないと思います。そのような子育て世代、若年層の移住がしやすくなれば、地域の活性化にもつながり都市農業の振興へも繋がるのではないかと思います。	駿河区	30代
近所で安価な賃貸料の農地があればと願います。定年退職後には土を触れることをしたいと思います。	清水区	50代
荒れた農地を無くしたい。	駿河区	70代以上
住宅地と農地や空き地がモザイク模様で広がり、都市としての計画性が全く見られない。特に駿河区は半端な農地(放棄地)が散在し、安全性、利便性の視点から非効率な街になっている。市街地でも空き家、空き地が沢山ある。今後は、農地の宅地化は制限するなり、条件を厳しくする(一定の戸数や宅地面積をクリアさせる、など)方策も早急に検討すべき。	清水区	70代以上
貸したい人、借りたい人の把握を常に心がけた都市農地の情報の共有。	駿河区	70代以上
土地の有効活用のためにも近くの空き地の利用と地元住民への参加の働きかけ。交通の心配がない農地の確保で安全な参加を期待	葵区	60代
税の優遇。空き地や空き家を潰して更地にし、緑地化した土地の固定資産税を0円に。ヒートアイランド現象、温暖化、空き家対策も兼ねて。	葵区	50代
耕作放棄地などを緑地としてとか、有効活用できたらいいなと思います。	駿河区	40代

近隣での農地の確保	清水区	60代
近所に都市農地があるが、実際にそこが空き区画があるか否かなどについて、どこで情報を手に入ればよいか分からないので、国有地情報などと同様に都市農地情報などを定期的に広報などで掲載いただけると、敷居が低くなるのではと感じた。	葵区	40代
市で耕作放棄地や空き家の収用ができるように法制度を整備して就農環境を整えてほしい	清水区	50代
集中型の農業地区の形成	葵区	50代

都市農業に対する理解の促進（農好市民の育成）		
日本の食糧自給率の低さの周知。農業や地域農産物に関する基本的知識を得るための学校教育、および社会人プログラム。	駿河区	30代
地元のおいしくて新鮮な農産物を自分たちが関わって生産したり収穫したりできるようになると、コミュニケーションも取ることができて地域の活性化につながると思います	葵区	50代
都市農業という言葉を知らなかったし、そのような場所を知らない。今後、意識して生活していきますね。	駿河区	50代
所有者と市民を繋ぎ市民農園の増大。	駿河区	30代
周りのお茶畑は荒れ放題になっています。お茶畑は荒れ始めたら、元に戻すのは大変です。竹も生え始めて、もう手に負えないと思います。東源台小学校のすぐ上で、区画整理の話も出ていますが、収益を出すための農業では無く、子供たちの体験の場としての農業として整備出来ればいいと願います。市内を一望出来て富士山も綺麗に見えます。地元を考える機会にもなるし、新たにオリーブの栽培も始まっているので、啓蒙活動の場としてもいいと思います。市が主導して始めてほしいです。	駿河区	40代
都市農業について知る機会をつくる	駿河区	20代
売り先としてのファーマーズマーケットを整備・拡充したり、市民農園で農地を借り受けやすくしたりするなど、多くの人が農業の大切さを理解し、親しむことで、将来的な食料自給率の向上を目指して欲しい。	駿河区	40代
そもそも知らない人もまだ多いと思うので、広報や LINE を使って広く周知してほしい。学校教育の中で知る機会があるとまたより良いと思う。	葵区	20代
もっと身近に農業が感じられたり、知ることができる環境があったらいいと思います。宣伝やキャンペーンをもっと効果的にやってほしいです。	駿河区	40代
農作業に一般の人が定期的に参加できる安定的な組織作りを希望します。	葵区	60代
体験型は子供大人関係なく楽しむことができますが、なかなか機会がないことのように感じます。こういった機会が増えると嬉しいです。	清水区	30代

幼稚園児の我が子が、「いちごってどういう風になっているの?」「お米ってどうやって作るの?」等、野菜や果物がどういう風に育っているのか興味を持って聞いてくることがあります。口でいくら説明しても伝わりにくかった経験があります。食育の観点からも、生活圏内で農地が身近にあることの尊さを感じます。子どもたちが実際に目で見て手で触れることができる都市農業があると良いなあと母親として思っています。	駿河区	30代
周知されていない事が多いと思います 特に若い人はテレビを見ない傾向なので具体的には思い浮かびませんが若い人に色々知ってもらう事が必要だと思います	葵区	60代
普段農業に関心のない層や若い人たちと、長年農業に携わってこられた農家の人達が交流できる場の創出を希望します。	駿河区	60代
若年から老年まで幅広い世代に農業体験の機会を作る、増やす。	清水区	50代
例えば、幼稚園や保育園、小中高校の生徒たちやその保護者達に、都市農業の体験をしてもらうなど、行政から市民への積極的な働きかけを推進してはどうか?	駿河区	50代
都市農業は大賛成です。今後現在の農地が売られても住宅街になるより自然豊かな街のままでいてほしいです。我が家は畑がありますが、農作物をプランターでしか育てたことがない子供もいるので市民農園が増え、色んな体験ができる場所があればいいなと思います。	駿河区	30代
市民に広く知ってもらい、理解を深めてもらう努力をお願いしたい。	葵区	60代
作物を育てそれを実際にいただく。その経験は生きる上でとても大切なことだと考えます。教育現場にも農業体験はよい影響を与えるのではないかと思います。	清水区	40代
上記設問で解答してきた通りですが、「緑化や地産地消による地球環境保護」「食料自給率の増加」「子どもたちへの食育」を、住民の生活と共存する形で進めていっていただけたらと思います。	駿河区	40代
この度、初めて市民アンケートモニターとなりました。例えば、これまで都市農業など聞いたこともなかったのですが、意見を申し述べるにあたり、少しですが、どんなことか調べたりしました。 その結果、経費の補償もあることを知りました。 モニターになることも一つの理解者が増えることも感じました。 一つ意見をするとすれば、目に見える形で地域住民と農家さんが身近に関わりが持てる場の広報の発信を求めたいところです。	葵区	40代
市民農園のさらなる拡充、場所の広報。少し遠くても交通網は良くなっているの広い場所の確保をお願いしたい	葵区	70代以上
『都市農業』の言葉すら知らなかった。自分だけが知らなかったのか、それとも地域住民の一部にしか知らせていないのか疑問だ。	葵区	70代以上

収穫、調理ができる農業体験イベント	葵区	20代
子どもたちが農業に触れ合える、そして食育に繋がる都市農業を期待します。	清水区	40代
私自身が都市農業に関する知識が少ないので、都市農業を知るためにイベントなどがあれば参加してみたいです。	葵区	50代
小中学校の学校行事などでも、積極的に農業に関わるものをしてもらい、小さな頃から農業に興味を持ってもらえるといいと思います。	葵区	40代
周りの人たちと都市農業について少し話してみましたが、周知されていないと感じました。メリット・デメリットについてもイメージ先行で、知識として把握している人はいませんでした。地産地消の推進を期待します。	駿河区	40代
正直なところ、市が都市農業に対して何の活動を行っているのかよくわからないので、まずは活動内容をもっとアピールして市民に関心を持ってもらうことが必要だと思った。	駿河区	40代
場所や、機会の提供、企画など広報紙などで広くお知らせしてほしい	清水区	40代
身近な所で農業体験できると良い	葵区	30代
市内産野菜の収穫と調理を、子どもと体験できるイベント等があれば参加したいと思います。また、一時的な体験ではなく、植え付けや途中の管理もサポーター等として参加できると理解が深まると思います。	清水区	30代
地域の方が気軽に農業作業の手伝いをできる仕組みや副業のように気軽に農家さんを手伝えたら身近に感じるなど思ったことはあります。中々難しいのだろうとは思っています。ですが、おうち時間が増え、時間に余裕のある方は、家庭菜園が趣味の人が増えてきているようで、今後の農業が新しい形となって発展する事を願います。	清水区	20代

地元農産物に関する情報の発信		
静岡市はある程度の都会でもあるし、田舎でもあり、気候も過ごしやすいです。お茶、みかん、いちご、わさびなど農作物も有名でありながら、スルーされる事が多いと思います。大きな販売所を作ったり整備する事で活性化につながると思います。新東名や東名高速道路からつながる販売所があったらいいです。	葵区	50代
スーパーにある地元農産物は高いようですが…。素人が農業に関われる情報をもっと発信していただきたい	駿河区	70代以上
市の特定の振興の後援を受けてできた野菜がどこで買えるのか、どういった特徴があるのか、それらを知る手立てがほしい	駿河区	30代

都市農地が有する多様な機能の発揮		
上手く機能できれば、孤独な一人暮らしの老人や孤立する人が減り、より豊かな暮らしや生きがいの提供、健康寿命延伸に繋がると思う。	清水区	60代
身近に小さくてもよいので畑がある環境があるのが理想。	葵区	60代
前述の記載と同じ。何かのきっかけで、お手伝いしてくれそうな定年退職者が、沢山いそうな気がします。仕掛け作りが大事ですね。	駿河区	70代以上
高齢化社会の中、身近な場所で農業を通じて地域交流を深め、生きがいを持ち健康な高齢者の方が増えること。また子供達が農業に触れ合い、食育を学ぶ場になることを期待しています。	駿河区	20代
農地が周辺にあることにより癒されることがあるからある程度は農地を確保してもらいたい。	清水区	40代
自分の住む静岡市は緑の多い街だと感じていますが、より今後緑の多い街になっていけば素敵だなと思います。	清水区	30代
都市農業は安全で安心な農作物を作る以外にも、たくさんの効果をもたらすが、そのことはあまり知られていないように感じる。どのような機能があるのかなど、わかりやすく説明し、上手く活用していくとよいだろうと思う。農業が栄えるためにも、親しみやすくなるような試みが必要である。イベントがあるとどんなことをしているのか、などが伝わりやすいのではないかと考えた。	駿河区	20代
都市農業公園のような気軽に体験できる場所があると嬉しく思います。孫たちにも土に触れあうチャンスを与えたい	清水区	70代以上
今回のアンケートのおかげで知らなかった点や気づきになった点が多く感謝いたします。もちろん、新鮮な食材の入手が容易になるなど分かりやすい定量的な効果は有難いです。しかしながら円安やウクライナ情勢等による燃料や肥料など原材料の高騰もあり、短期的には難しいと考えます。中長期的にそのようなことの実現を目指しつつも、災害時の活用や教育・コミュニティのサポートツールのような、すぐに効果は実感できなくとも確実にプラスに働くような効果がある取組み及びその周知を期待したいです。	駿河区	30代
食品としてだけでなく、生物多様性の面から見た都市農業ができれば良いと思います。	葵区	20代



都市農地の課題		
都市農業を振興することはとても良いことですが、騒音等のデメリットもあるので、地域住民の声を聞きながら行って欲しいと思います。	清水区	10代
田舎の方に行くと、畑を焼いていたりします。周りに民家がなければいいとは思いますが、洗濯物が焦げ臭くなるのは嫌だなと思います。 農業が発展していくのはとてもいい事だと思いますが、生活に支障がないような対策などがあれば、より良い都市農業になると思いました。	葵区	20代

4-(1)その他意見		
他市に影響されすぎず、メディアにおもねることなく企画振興してください。基本は暮らし易い静岡市にしたいですね。	駿河区	70代以上
行政の積極的支援や広報が必要かと。	駿河区	60代
都市農業の振興が人口減少の抑制に直接繋がるとは考えられない。論理に飛躍があるように思う。論理展開をさらに詳細に詰めて頂きたい。他の政策と協業し、合わせ技で抑制を図るのであればまだ理解できるが、今後に期待したい。	駿河区	60代
都市農業の振興にあたっては、全面的に賛成です。但し自分は緑が好きで庭木剪定、消毒管理やブルーベリー鉢、夏はゴーヤ、ミニトマト、キュウリ等の鉢栽培と忙しく、今の所畑作りまで広げられず、すみません。	葵区	70代以上
我が家の近辺には広い農地がありますので農産物販売所の整備拡大も大変期待するところではありますが、同時に商業施設の誘致等を検討していただき、スマートインターチェンジを利用した観光業、地域住民の雇用を発展させ地域の活性化を図ってほしいです。	駿河区	70代以上
上に書いた税の優遇です。他には都市農園の振興に取り組むNPO法人が活動しやすくすることでしょうか。あるいは静岡市が積極的に都市地域の振興のためにイベントを開くなどの活動をする事です。	葵区	50代

【所感】

アンケートの結果から、「新鮮で安心・安全」な農産物に対する意識は、年代を問わず多くの市民が持っており、都市農業も「新鮮で安心・安全」な農産物の生産現場としての必要性を感じました。

また、農産物を購入するだけでなく、居住地周辺の都市農地で農業（農作業）に関わりたいと考えている市民の割合も7割近くあり、農業に対して興味を持っている市民が多いこともわかりました。

その一方で、身近な生活圏内において「新鮮で安心・安全」な農作物が手に入れづらいといった意見や、農業に関わってみたいと考えていてもそのような機会がなかったり、どのようにアプローチしていったら良いかがわからないといった意見も見受けられました。

今回実施したアンケートの結果を、『静岡市都市農業振興基本計画』の見直しの参考にさせていただき、周辺の環境と調和した都市農業を振興してまいります。